



国分寺とは、いかなる寺院なのか。

古代国分寺の謎

国分寺とは、いかなる寺院なのでしょうか。
教科書的に言えば、「天平十三年（七四二）、
聖武天皇の命によって、五穀豊穡・国家鎮護のため
国ごとに国分僧寺と国分尼寺を建てた」となります。
ここでは、もう少し掘り下げて、国分寺の始めと終わり、
真の建立発願者、建立の目的、本尊仏、国分寺僧の組織や
出身地、そもそも国分寺では何をしていたのか？
広く全国の国分寺の動向から、武蔵国分寺について考えます。



令和8年

3/1日

定員

150名

要事前申込

14:00～16:00

リオンホール

国分寺市本町3丁目1-1

cocobunji WEST 5階（cocobunji プラザ内）

※専用の駐車場・駐輪場はありません。
公共交通機関をご利用ください

講師

荒井秀規氏

国分寺市市史編さん推進委員会 原始・古代・中世部会長
明治大学兼任講師

来賓挨拶

坂詰秀一氏

立正大学特別榮譽教授・国分寺市文化財保護審議会会長
国分寺市市史編さん推進委員会 副委員長



申込 フォームよりお申込みください
定員に達し次第終了となります

主催：国分寺市教育委員会 市史編さん室